

n a-view

視点の先の未来を見つめて

2014
SUMMER
Vol.454

[ナビュー] Nichiha across the view



architetto
小屋ノ
中ニ
居リマス
好文

建築家 中村好文 住宅の原型

Contents

02 | 特集 建築家 中村好文 住宅の原型

10 | 新商品紹介

18 | Topics & More

19 | NICHIIHA SIDING AWARD 2013 開催中

建築家 中村好文 住宅の原型

金沢の
「小屋においでよ!」の
世界をのぞいて

雨風をしのぎ寝起きするところ、家族が生活をともにするところ、帰ってほっとするところ、一番くつろげる自分だけの居場所…家にはさまざまな役割があります。

今回は、そんな家や住み方の原点を辿るべく、人の暮らしに寄り添った普段着のように居心地の良い住まいづくりと、その気負わない飄々とした人柄でファンの多い建築家中村好文氏にお話を伺いに、石川県金沢市の金沢21世紀美術館内の「小屋」を訪ねました。

「小屋においでよ!」の展示会は、中村氏が「住宅の原型」として位置づけてきた「小屋」に関する考察と展示を通じて「住宅とはなにか?」を問い直す企画として、ちょうど一年前、東京・乃木坂「TOTOギャラリー・間」で開催されました。建築関係者だけでなく、多くの一般来場者で賑わい、盛況を見せた画期的な展示会でもあります。その最初にして最後の巡回展が、この度、金沢21世紀美術館で開催されています。

2会場のうちのメイン展示が、中庭のスペース「光庭」に建築された原寸サイズの小屋「Hanem Hut(ハネム ハット)」。エネルギーの自給自足を目指すひとり暮らし用の小屋は、居間、食堂、寝室を兼ねる部屋に、キッチンとトイレ、シャワー室が備え付けられているワンルームタイプで、ソーラーパネルと風力で電気を賄い、雨水をトイレやシャワーなどの生活用水に利用する仕組みとなっています。

一方、「長期インスタレーションルーム」には、中村氏が長年思いを寄せてきた古今東西の7つの名作小屋の紹介に加え、「Hanem Hut」のスケッチや設計図面一式の展示、小屋の工事を記録したメイキング映像コーナーも設けられています。

初日には、中村好文氏による講演会「小屋への道のり」が行われ、大きな家を建てるのが甲斐性といわれる北陸においても、会場は満席となりました。



長期インスタレーションルームの展示風景



光庭に建てたメイン展示「Hanem Hut」。

講演会で 語られた 小屋への 道のり

その1 幼児期からの 道のり

「少年は樹上に家を持ち、少女は人形の家を持つ」。中村好文氏が「家」を想うとき、真っ先に頭に浮かぶ言葉なのだという。子ども時代、ツリーハウスはなかったものの、家のまわりにある樹に登りつくし、旺盛に巣づくりにいそいそといたという中村少年。中でも「一番古い記憶は、ミシンの蓋の下の「巢」(下

図)なのだそう。新聞紙をL型に蓋にかけ、下にもぐり込んで膝を抱えて座っていたそこは、居心地のいいとっておきの隠れ家となった。当時そこで聞いていたラジオドラマ「紅孔雀」の記憶から放送時期を調べたところ、当時6歳の経験だったと振り返る。読書をしたり、ラジオを楽しんだその小さな空間が、中村氏のいう「小屋の処女作」なのだ。そして数十年後、「中年も樹上に家を持つ」として、2坪に満たない「木の上の家」を建てた。別荘として読書をしたり昼寝をしたり、中村氏の巣づくりは、少年時代と変わらず続いている。変わったのは、読書するとき片手にしたジューズボックスになったこととか。ちなみに、中村氏の事務所レミングハウス

の「レミング」は、北欧に住んでいる旅ネズミの名前。1948年のネズミ年生まれというのが所以である。小動物は巣づくりで、巣穴を全部なめまわす習性があるといい、隅々まで心地良さを追求し、クライアントの暮らしに寄り添った普段着のように居心地のいい住宅を設計されてきた中村氏の住宅のつくり方にも通じる。

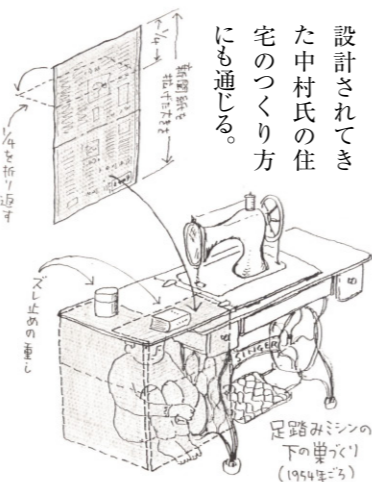


イラスト:中村好文

その2 古今東西の 小屋をたどる道のり

これまで中村氏が訪ね歩いてきた世界各地にある古今東西の名作小屋の中から、展示会で紹介された小屋は以下の7つ。中村氏はこれらの小屋に向かい合うと、「人の住まいと暮らしの原風景を目の当たりにする想いとらわれる」という。

◆鴨長明の方丈

日本の歌人、随筆家。(1155~1216) 晩年、京の郊外に「丈四方(方丈)の狭い庵を結び隠棲した。庵内から当時の世間を観察し、書き記した記録が「方丈記」。

◆ル・コルビュジエの休暇小屋

フランスで活躍した建築家(1887~1965) フランク・ロイド・ライト、ミース・ファン・デル・ローエとともに近代建築の三大巨匠とよばれる。南仏に建てた休暇小屋は、最小限寸法の実験住

◆高村光太郎の小屋

彫刻家、詩人(1883~1956) 晩年、岩手県花巻市に鉱山の飯場小屋を移築し、質素な独居自炊生活を送った。戦時中、戦争賛美の詩を数多く書いたことと責任を反省し、自らを鳥流にしたとも言われている。

◆ヘンリー・デイヴィッド・ソローの小屋

アメリカ合衆国生まれの作家、思想家、詩人。(1817~1862) 自分で丸太小屋を建て2年2か月自給自足生活を送った。

◆猪谷六合雄の小屋

日本スキー界の草分け的存在。(1890~1986) 生涯にいくつも小屋を手づくりした。中村氏が「小屋の師匠」。

◆立原道造のヒアシンスハウス

詩人。(1914~1939) 建築家としての将来も囑望されたが、弱冠24歳で急逝。ヒアシンスハウスは、立原自身の小屋の計画案。

◆堀江謙一のマーメイド号

海洋冒険家。(1938~) 小型ヨット(マーメイド号)での太平洋単独航海に成功。



杉板張りの小屋型枠に、名作小屋の模型や写真、映像が展示されている。



小屋の達人たちの写真。



観光地にある顔出しパネルのように、鴨長明の顔の部分が開くかになっている。こうした遊び心が、気付いた来場者をにやりとさせる。

その3

レムハット

Lemm Hutへの道のり

中村好文氏は2005年から長野県浅間山麓で、レミングハウスのスタッフとともに手づくりした14坪のLemm Hutで週末の小屋暮らしを愉しんでいるという。文明の命綱(ライフライン)とも言うべき、電線、電話線、上下の水道管、ガス管に繋がれていないエネルギー自給自足を目指す実験住宅である。

電力はソーラーパネルと風車の発電で賄う。片流れの大屋根で集めた雨水を地下の受水層に溜め、手こぎのポンプでリサイクル品のウイスキー樽に揚げる水圧を利用して台所とトイレと洗面と浴室に給水する。調理

はすべて炭火を入れた七厘で行う。書斎と寝室と脱衣所を兼用する風呂小屋は、薪で焚く五右衛門風呂。中村氏はこうした小屋暮らしで「眠っていた生活者の能力」に気づいたともいう。

「小屋で暮らしていると、食事の支度をすすめるにしろ、大工仕事をするにしろ、いつの間にか、五感をフル稼働させ、頭よりは手と身体を使っていることに気づきます。暮らしの中で創意工夫する習慣が身に付いてくると、眠っていた生活者としての能力が呼び覚まされ、生活の知恵がじわりじわりとわき出してくるのを感じるのです。安易に手に入る便利さや快適さが、人間本来の能力を退化させてしまうことに気づき、危機感を感じはじめたのは、小屋暮らしをはじめからです。」(中村好文 小屋から家へTOTO出版より抜粋)



200坪の敷地の奥に建てた風呂小屋。



「Lemm Hut」。小屋は目の前に広大な盆地が広がる高台にある。前方に八ヶ岳連峰、左側に南アルプスという素晴らしい眺望も楽しめる。

出典:『中村好文 小屋から家へ』TOTO出版(TOTO株式会社) 2013年

その4

「小屋においてよー」 展覧会への道のり

「小屋を住まいの原型」と考える中村氏。「小屋を考えることは、暮らしを考えることでもある。小屋を通じて、普通の人が暮らす普通の人の暮らしと住まいについて考えるきっかけになれば」との思いからスタートした展覧会「小屋においてよー」。

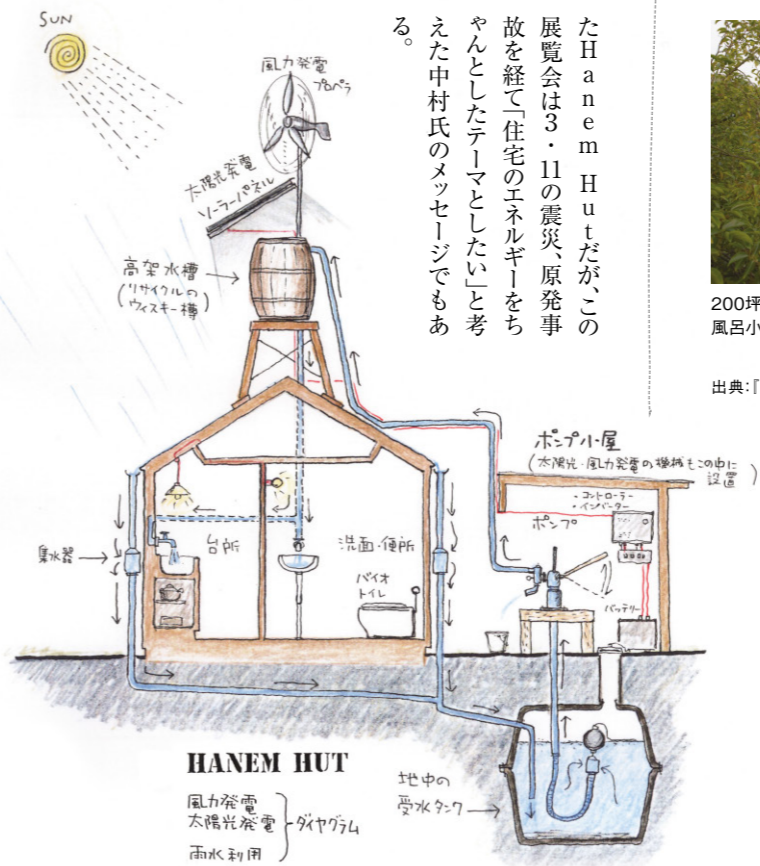
展覧会のメインとなる実物の小屋「Hanem Hut」は本物に徹した建築物である。大阪の羽根建築工房との協働によるもので、それぞれの頭文字Haneと

Lemより名付けられた。間口3.1m×奥行3.4mの小屋の構造は、杉の三層積層パネル。模型を組み立てる要領で行われ、完成させるまでの時間はたったの72時間。

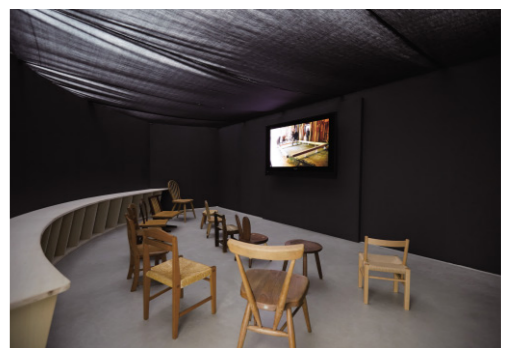
小屋用にデザインされたソファベッド、テーブル、キッチン家具が空間にすくと納められ、試作を重ねたというクッキングストーヴが小屋に温もりを与えている。調理器具や食器、衣類、書棚にびったり納まった100冊の本などの小物はすべて中村氏が普段使っているもの。

幼い頃に体験したヒューマンスケール(居心地の良い空間)が原点となり、世界各地の有名・無名の小屋を訪ね歩き、自身の小屋Lemm Hutの自給自足生活から到っ

たHanem Hutだが、この展覧会は3・11の震災、原発事故を経て「住宅のエネルギーをちゃんとしたテーマ」と考えた中村氏のメッセージでもある。



「Hanem Hut」の雨水利用・発電(太陽光・風力)システム。
イラスト:中村好文



展示室内のミニシアターで「Hanem Hut」のメイキング映像をみる
ことができる。

Interview NAKAMURA Yoshifumi



「始末に暮らすこと」の大切さを
本当は皆、心の奥では分かっているはず。
だから、小屋を見たら
「これで良かったんだ」って
思うんです。



——「小屋においてよー」の巡回展先として、金沢21世紀美術館を選ばれた理由についてお聞かせください。

TOTOギャラリー・間の展覧会のように、巡回展的なものがないか、という話をいただいたら、僕も、もう一回ぐらいならやってもいいなと考えていました。それでもし本当にやるのであれば、金沢で、と思っていました。僕は旅先でよく美術館に行くけれど、金沢21世紀美術館は、世界の美術館の中でも5本の指に入るぐらい好き。

特に、建物があつからんとすると、そこがいいですね。正面玄関側の道路を通ると、芝生では子ども達が寝そべっていたり、散歩する人がいたり、皆が思い思いにまるで公園のような過ごし方をしているところがいいですね。周辺には兼六園もありいい場所です。最初はこの芝生のところにHanem Hut(ハネムハット)を建てようと思っていま



金沢21世紀美術館
「中村好文 小屋においてよー」は2014年8月31日(日)まで開催中。
撮影:渡邊修 提供:金沢21世紀美術館

した。円形ガラスの建物と家型をした小さな小屋。その対比を見せるようにできた面白いと考えていましたが、セキエリテイの問題で外は難しいということになった。結果的には中庭の『光庭』に展示して良かったと思っています。

——「小屋」をつくったのは、TOTTOギャラリー・間が最初だったのでしょうか？

中村先生といえば「小屋」という代名詞になりそうですが。

「小屋なら好文」と言われても困るけど、これまで小屋的な建物はいつぱいつくつてきました。阪神平野と大阪湾を見下ろす六甲の山の上に、眺望を愛するためだけに建てた2坪のLuna Hut(ルナハット)や、北海道真狩村の神さんのパン工房の敷地に、薪窯小屋を改修した4・5坪の書斎とライブラリー、ゲストルームを兼ねたJinn Hut(ジンハット)とか。

——「展覧会の「小屋」に込めたメッセージについてお聞かせください。

エネルギーのことは、ひとりひとりが自分の生活を振り返って考えた方がいいのではと思います。たとえば電気容量でも、電化製品が増えてくるとアンペアを20、30、50と、どんどん上げていくわけですよ。そうしないと朝、電子レンジとドライヤーを同時に使うとブレーカーが落ちちゃう。でも考えたら、同時に使わなければ問題ないわけで、5分や10分、時間をずらせば済む。つまり、そういう工夫が大事じゃないかと。

Hanem Hutのシャワーの袋もたいした水量は入らない。限られた量の水でシャワーを浴びようと思うと、結構、どこからどう体となった、無理も無駄もない簡素さ加減が、私にはこの上もなくいさぎよく感じられ、好ましいもの思われます。インターネットと携帯電話が我々の顔にはばり利かす情報と通信の時代。部屋中に、家中に、街中にモノの氾濫する時代。そして、それを惜しげもなく捨てる消費と浪費の時代。「便利」と「豊かさ」が同義語となり、そのことを誰も疑ったりしない時代。そんな浮き足立った時代に、この背筋のまっすぐ通った老人の落ち着いた静かな暮らしぶりと、室内の清楚なつらえの描写を読むと、冷たい湧き水で顔を洗ったような清々しい気分になります。」

〔住宅読本「新潮社より抜粋」〕

——中村先生は家づくりにおいて、どんな点に気を配られるのですか？

僕は、自分が住みたくなるような家をつくりたい。敷地や法的な条件や経済的な条件、そしていろんな家族のカタチがあるなかで、自分がこの家族だったらこう住みたいという気持ちで設計したいから、依頼があるのと、その人と向き合い、要望書の行間を読む努力をします。たとえば僕がつくる家は全て手すりの材質もカタチも違います。階段の手すりを介してその家族のひとりひとりと握手している感じです。それこそ家中をなめ回すようにして作るんです。その人たちが暮らす家としてどうか。人に見せるための「見せたい(三世帯)住宅」や人を呼ぶための「寄せたい(四世帯)住宅」じゃなくてね(笑)。

それと「遊び心」も大切。機能的のなかに、ふと心が和むような工夫をしたいなと思いますね。気づいた人だけが思わず微笑むような仕掛けなんかも、わくわくするでしょう。※2

※2「住宅は、もちろん合理的で機能的な方がよいのですが、だからといってそれが一切無駄のない、謹厳実直、実用・点張りのただの箱だったら、何だかまらぬんじゃないやありませんか。家の一部にアクセントのように



太陽の熱で50℃近くまで温まるシャワーバックを使用するシャワールーム。

洗おうかと考えるわけです(笑)。限りある量を生活の知恵でしのいでいく。いかに工夫してうまく使うか。そこを考えたときに知恵が出てくる気がしますね。たまたまシャワーの水かもしれないけれど、あれを地球の資源と考えたら、上手な使い方を工夫しなければ困るんじゃないかと。だから、あのシャワーの袋がこの小屋にあるのは象徴的なことなんです。いくらでも使えるものじゃないんだよ、ということを自分にしみ込ませたい。

やはり習慣化されないと、なかなか自分のものにはならない気がします。自戒の気持ちを込めてね。

——エネルギー問題に加え、Hanem Hutでの生活は質素でありながら、豊かさをもたらしているように感じます。

「豊かさ」ということについては、日本の場合、とくにそうだと思うけれど、外車を持つていたりとか、テレビの画面が大きいとか、そういう物質的な意味での豊かさに寄りかかりがちですよ。精神的なことがないがしろにされているような感じがする。モノこそすべてみたいな。モノで豊かさを量るようなところがあるでしょう。そういうのがイヤだとずっと思っていました。「心が豊かかどうか」ということが本当は大事なのにね。

設けられた愉快な工夫や、ちょっとした仕掛けなどの「遊び心」は、会話のはばしのエッセンスのようなもので日々の暮らしに潤いを与え、そこに暮らす人を愉しませ、またその気持ちを和ませてくれるからです。〔住宅読本「新潮社より抜粋」〕

——中村先生は、焼杉板やガルバリウム鋼板の波板、塗装の仕上げを施さない板などを採用されていますね。外壁材についての考えをお聞かせください。

Hanem Hutの外壁はね、もともと吉村順三先生が建てた山荘を僕が改修することになって、そのときに出た廃材なんです。いわば50年ものカラマツ材です。だいぶ傷んでいたから剥がして、普通は捨てちゃうようなものだけだけど、風合いがよくてもつたいないから捨てずに保管しておいたんです。ギャラリー・間から展覧会の話をいただいたときに、それを使って小屋を作ろうということになったわけですよ。

素材そのものの良さがあつて、それが工夫されて施工され、さらに風雨と時間で仕上げられる。この地域でいうなら、能登ヒバを取り換えてできるような南京下見に張る。海岸沿いの家なんて銀鼠色というか、いいグレイになって、ほんとうに惚れ惚れしますね。

——日本の昔の建物というのは、そういうことがきちんと考えられているのですか。それこそ限られた資源でやろうとしていきますからね。

中村氏は、小屋を前面に押し出して「工口を推進しています」と声高に主張したいわけではないという。「たとえばよくあるのがソーラー発電だけれど、あれを設置しよう

それからもう一つ、質素である、簡素であることがあまり高く評価されない世の中の風潮にも不満があります。

「始末(浪費をしないように気をつけること。また、そのさま。儉約。)」という言葉は最近ではあまり使われなくなりましたが、「始末を心がける」「始末に暮らす」ということは、すごく大事だと思うんですよ。無駄づかいしないというのは美德ですから。だから、小屋を見たら、これでもいいなって思うんですよ。逆説的だけれども、たくさん持つことより、少なく持つことの方が豊かというか。

僕は、『住宅読本(著)中村好文/新潮社』の中でも紹介しましたが、※1山本周五郎の『季節のない街』という小説の節に出てくる「たんばさん」の6帖間の暮らしぶりがとても好き、というより理想です。

※1ここに描かれているのは、隣近所や世の中の風潮に惑わされずに、自分の身の丈に合った暮らしを、自身の着実なペースで営む、二人暮らしの老人の生活と住まわいの様子です。(中略「すまい」と「くら」が表裏)



「最初から完成されていなくてもいい。20年かけて家を育てていくのもいいと思いますよ。」と中村氏。



Hanem Hutの模型。



とすると、皆さん、屋根を全部使って300万、400万かけてやろうとする。でも別に小さいパネルでもいいんじゃないかと思えますよね。できる範囲のことをやれば、いいわけで、やるか、やらないか、白か、黒か、という選択だけじゃないと思うんだよね」と中村氏。

ときどき自分の生活を振り返り、できる範囲のことから始めて、生活の知恵を磨いていく。その積み重ねや延長線上に自ずと「住まいとは何か」が見えてくるのかも。それと「住まいとは何か」が見えてくることに、それは、思い立てばすぐにできることばかりなのだ。

ツタがからまっていた跡も残るカラマツの古材。年月を重ねた風合いが小屋の魅力にもなっている。

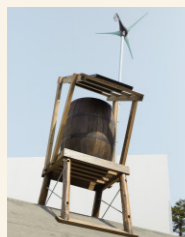
中村好文 NAKAMURA Yoshifumi

1948年千葉県生まれ。72年武蔵野美術大学建築学科卒業。1981年レミングハウス設立。1999年～日本大学生産工学部建築工学科教授。1987年「三谷さんの家」で第1回吉岡賞受賞、1993年「一連の住宅作品」で第18回吉田五十八賞「特別賞」受賞。主な作品に、「三谷さんの家」「上総の家I・II」「museum as it is」。「伊丹十三記念館」など。著書に、「住宅巡礼」、「住宅読本」「意中の建築上・下巻」「パン屋の手紙」「暮らしを旅する」など。



09	10
11	13
12	14

- 09 必要最小限の器や道具、調味料がしまえて、使いやすいように考えられたキッチン。
 10 外で火を起こし、石のカウンターに落とし込む七輪のレンジ。下の扉を開いて火加減を調節する。
 11 入れるモノによって、抽斗の深さも調整されている。
 12 お皿は一番下の抽斗に立てて収納している。
 13 電気冷蔵庫ではなく、水で冷やす木製の冷蔵庫。
 14 ドイツ製の集水器。たて樋の水は内側を通して流れてきて、その水がステンレスメッシュのフィルターを斜めに通りすぎると、ゴミや虫や泥が落ちてしまい、汚れた水は流れる仕組み。



「中村好文 小屋においで!」
 2014年8月31日(日)まで開催中
 開場時間/10:00→18:00(金・土曜日は20:00まで)
 休場日/毎週月曜日(7月21日、8月11日は開場)、7月22日(火)
 会場/長期インсталレーションルーム、光庭
 入場無料
 金沢21世紀美術館
 〒920-8509 石川県金沢市広坂1丁目2番1号
 TEL.076-220-2800 <http://www.kanazawa21.jp>



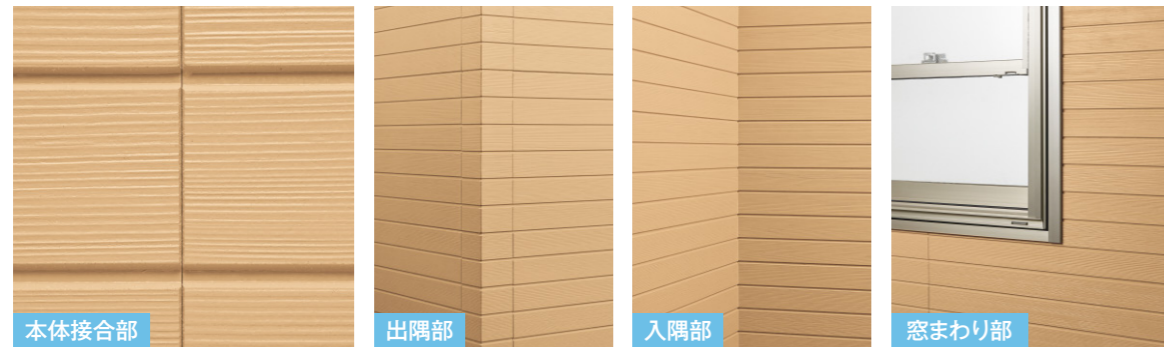
01	02
03	04
06	07
	08

- 01 ダイニング、リビング、仕事場、寝室を兼ね備えたメインルーム。テーブル、ソファ、照明は展示のためにつくられたオリジナル。寝る時は、ソファの下の抽斗からシーツや布団を取り出し、脚を引き出してマットレスをボタンと平らにしてベッドメイクする。
 02 グリーンリーのコンポストトイレ。水で流さず、電気も使用しない。
 03 中村好文氏が選び抜いたという100冊の蔵書。
 04 文字盤のない鳩時計。中村氏曰く「鳩が時を告げて、もどる瞬間がいい」のだそう。
 05 衣類を収納するクローゼットは、冷蔵庫の向かいに設けられている。
 06-07 ポンプ小屋。雨水が地下のタンクに溜まり、高架水槽へポンプで汲み上げるという想定。太陽光、風力発電の機械もこの小屋に収納されている。
 08 煮炊きができるクッキングストーブもこの小屋のためにデザインされた。

POINT 1

キレイな継ぎ目で自然な壁面を演出

シーリング目地に比べて、黒ずみ汚れを気にしなくて済むシーリングレス仕様。
板の継ぎ目が目立ちにくいのでナチュラル感を表現できる木目柄や、
住宅外観には欠かせないタイル柄などの定番デザインの質感や素材感を引き出し、
上質感溢れる外観に仕上げます。



POINT 2

軽量化で施工負担を軽減

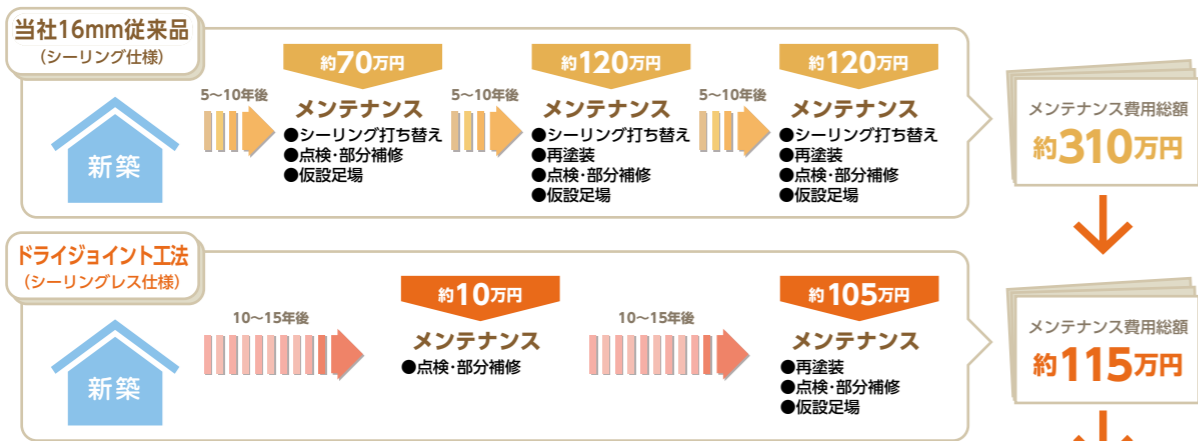
10尺品の6/10のサイズと重量で、施工負担の軽減や省力化に寄与します。

POINT 3

シーリングレスだからメンテナンスがラク

施工時の環境やその後の自然環境に左右されやすく、
定期的なメンテナンスが必要なシーリング材。
経年劣化による切れや漏水不安、汚れといったシーリングのリスクを軽減します。

——「ドライジョイント工法」ならこんなにおトク!——



シーリングレス仕様で長期にわたるメンテナンス費用を格段におさえます。

※延べ床面積 約30坪 外壁面積 150㎡にて外壁工事(材工)費用を算出。(税別)
※上記金額はあくまでも当社試算です。実際の費用については工事業者様にお問い合わせください。
※メンテナンス費用、時期及び内容を保証するものではありません。

モエンエクセラード
「ドライジョイント工法」
シリーズ誕生。

Fuge
フュージェ

~ future-generation ~
未来へ受け継ぐ新世代外装材

シーリングレス 一体壁の美しさ。

板の繋ぎ目が目立ちにくい「ドライジョイント工法」。
フラットな壁面を実現し、素材感を最大限引き出します。



※施工画像はCG合成をしており、実際の施工と異なる場合があります。

2. 出隅部がキレイ

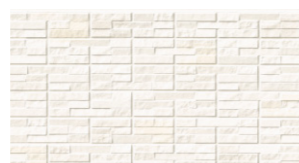
変動するモザイクの躍動感と陰影を、滑らかな石灰岩の石肌テクスチャーで再現。
縦目地が所々左右につながるブロックで緩和され、壁面に広がり安定感を与えます。



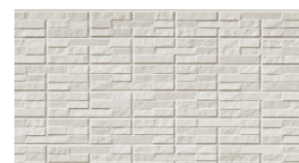
EFF023Fイメージ



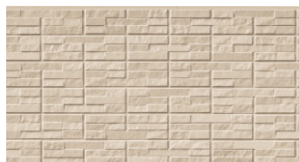
EFF021F
エルフィンMGクリアホワイト



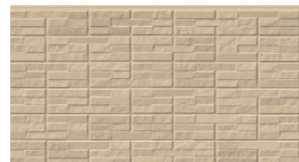
EFF022F
エルフィンMGホワイト



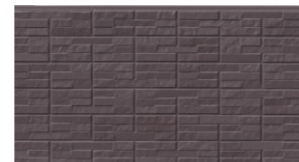
EFF023F
エルフィンMGグレー



EFF024F
エルフィンMGベージュ



EFF025F
エルフィンMGブラウン



EFF026F
エルフィンMGチャコール

メインアクセラード16 *Fuge*
セルクレール

サイズ:16×455×1,820mm
4,752円/枚(税抜4,400円/枚)
5,738円/m²(税抜5,313円/m²)



EFF012F/EFF024Fイメージ



※施工画像はCG合成をしており、実際の施工と異なる場合があります。



EFF031Fイメージ

表情の異なる面を寄せ木細工のように組み、整然とした中にリズム感を与えました。
デジタルなRによるシャープな陰影のタイルが、大面積では穏やかな心地よさを演出します。



EFF031F
デリットMGホワイト



EFF032F
デリットMGアイボリー



EFF033F
デリットMGブラウン



EFF034F
デリットMGダークグレー



EFF035F
デリットMGチャコール

メインアクセラード16 *Fuge*
ミラコロ

サイズ:16×455×1,820mm
4,752円/枚(税抜4,400円/枚)
5,738円/m²(税抜5,313円/m²)



EFF014Fイメージ

スタンダードでありながら凹凸感が強調されたデザインが、壁面に奥行きを与えます。
アクセントのみならずベース柄としてもスタイリッシュに、幅広いコーディネートを実現します。



EFF011F
エルフィンMGクリアホワイト



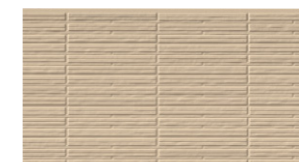
EFF012F
エルフィンMGホワイト



EFF013F
エルフィンMGグレー



EFF014F
エルフィンMGベージュ



EFF015F
エルフィンMGブラウン



EFF016F
エルフィンMGチャコール

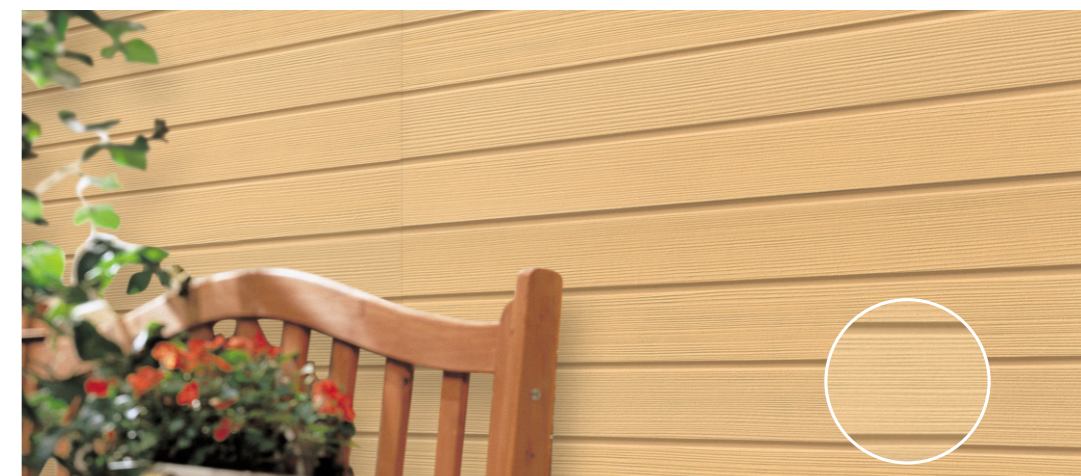
メインアクセラード16 *Fuge*
セレンシアル

サイズ:16×455×1,820mm
4,752円/枚(税抜4,400円/枚)
5,738円/m²(税抜5,313円/m²)





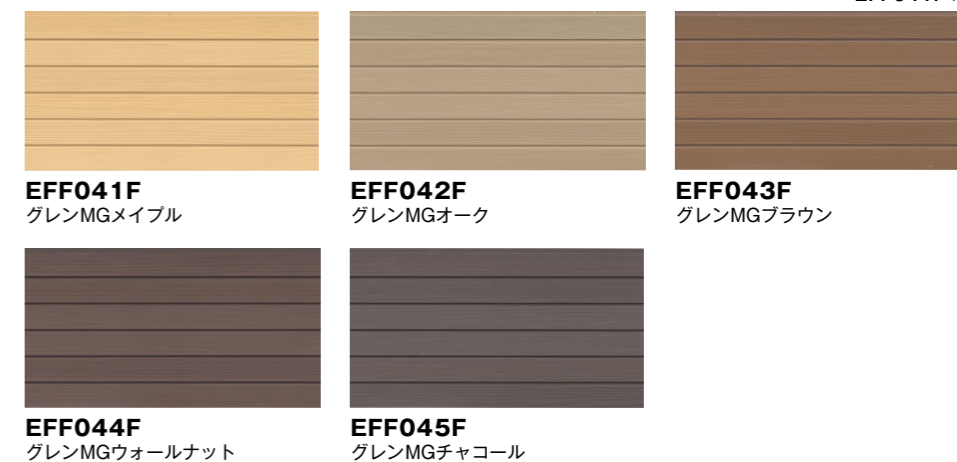
厳選された天然木材のテクスチャーで、直線的でありながらも穏やかな表情に。ウッドタイルやルーバーをイメージさせる新感覚の木目柄は、洗練された外観を創ります。



EFF041Fイメージ

メインエクセラード16 RUGA
スライウッド

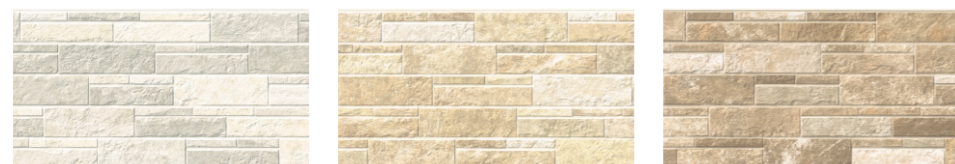
サイズ:16×455×1,820mm
4,752円/枚(税抜4,400円/枚)
5,738円/㎡(税抜5,313円/㎡)



緻密な石組みパターンと多彩な色合いの岩肌テクスチャーが気品あるトラディショナルな洋風住宅に似合います。

メインエクセラード16
ボーベルストーン

サイズ:16×455×3,030mm
8,208円/枚(税抜7,600円/枚)
5,954円/㎡(税抜5,513円/㎡)



EJ341E ノルテMGホワイト
EJ342E ノルテMGイエロー
EJ343E ノルテMGブラウン



EFF052Fイメージ



大地を形成する土と石が混ざり合う様子をモチーフにしたナチュラルな表情が印象的。割石の陰影が壁面に深みと揺らぎを創出し、アクセントからベース柄まで幅広く対応します。

メインエクセラード16 RUGA
プリレート

サイズ:16×455×1,820mm
4,752円/枚(税抜4,400円/枚)
5,738円/㎡(税抜5,313円/㎡)





EPB552Fイメージ

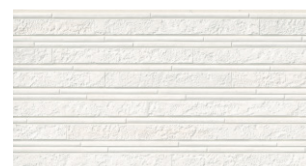
伝統的な建築素材である竹垣と土壁をモチーフに採用。竹垣ピースを硬質なタイルに加工し、表面のディテールが際立つ現代風でシンプルなライン柄にアレンジしました。

メインセラード16

ニューセラードシリーズ

フォールドウォール

サイズ:16×455×3,030mm
7,452円/枚(税抜6,900円/枚)
5,405円/㎡(税抜5,005円/㎡)



EPB551F
カトマMGホワイト



EPB552F
カトマMGアイボリー



EPB553F
カトマMGベージュ

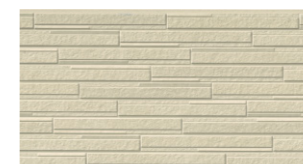


EPB543Fイメージ

溶岩が冷え固まった表情や地殻変動などで現れるダイナミックな岩肌の造形美を表現。モダンな住宅スタイルにもマッチするよう虚飾を廃し、巧みな面構成で陰影感を表現しました。



EPB541F
ディーチェMGホワイト



EPB542F
ディーチェMGアイボリー



EPB543F
ディーチェMGオーカー



EPB544F
ディーチェMGブラウン



EPB545F
ディーチェMGブラック

メインセラード16

ニューセラードシリーズ

ディスタシェイド

サイズ:16×455×3,030mm
7,452円/枚(税抜6,900円/枚)
5,405円/㎡(税抜5,005円/㎡)



EPB562Nイメージ

石灰岩盤から薄く切り出した豊かなテクスチャーを端正に積み上げた石積み柄。繊細なハツリ面とシャープなカット面の陰影のハーモニーがスタイルを選ばずマッチします。

メインセラード16

ニューセラードシリーズ

キアンカ

サイズ:16×455×3,030mm
7,452円/枚(税抜6,900円/枚)
5,405円/㎡(税抜5,005円/㎡)



EPB561N
トルロMGホワイト



EPB562N
トルロMGメープル



EPB563N
トルロMGオレンジ



EPB564N
トルロMGチャコール



EPB565N
トルロMGブラウン



EPB566N
トルロMGココア

NICHIHA SIDING AWARD 2014 開催中

本年もNICHIHA SIDING AWARD2014を開催いたします。
審査委員長にインテリアデザイナー、杉本貴志氏、建築家の難波和彦氏をお迎えし、
ニチハ製品をご採用いただいた作品を審査いただきます。



杉本貴志

インテリアデザイナー。1973年(株)スーパーポテトを設立。商業空間のデザインを数多く手がけ、バー、レストラン、ホテルの内装デザインから複合施設の総合プロデュースまで幅広い分野で活躍。
1984、1985年毎日デザイン賞連続受賞。
2008年米紙InteriorDesign Magazineより「Hall of Fame Awards」を受賞。



難波和彦

建築家・東京大学名誉教授。1977年一級建築士事務所(株)界工作舎を設立。代表作に「箱の家」シリーズがあり、標準化・多様化・サステナビリティをコンセプトに掲げた都市型住宅のプロトタイプとしてデザイン・開発を手がける。グッドインテリアデザイン賞、新建築吉岡賞、住宅建築賞、JIA環境建築賞など多数受賞。

下記の応募要項で、設計事務所様、工務店様等の専門家向けとして実施いたします。

対象作品：弊社製品(金属製外装材含む)を外装あるいは内装に使用し、2013年8月以降に新築またはリフォームされた建築物。

締切日：2014年7月31日(木) ※当日消印有効

審査基準：ニチハ標準施工で、建て主様の意向に沿い、時流に合った外観デザインであること。また、周囲との調和や外構デザインにも配慮されている作品であるかについて、施工写真や設計要旨から判断のうえ審査します。

賞品：住宅部門、非住宅部門において、グランプリ、プラチナ賞、ゴールド賞をそれぞれ1点選出します。

住宅部門・非住宅部門	◆グランプリ	2点	30万円(旅行クーポン券)、建て主様に5万円(旅行クーポン券)
	◆プラチナ賞	2点	10万円(旅行クーポン券)、建て主様に3万円(旅行クーポン券)
	◆ゴールド賞	2点	5万円(旅行クーポン券)、建て主様に2万円(旅行クーポン券)
住宅部門・非住宅部門あわせて	◆入賞	10点	3万円(旅行クーポン券)、建て主様に1万円(旅行クーポン券)
	◆リフォーム賞	数点	3万円(旅行クーポン券)、建て主様に1万円(旅行クーポン券)

応募方法：専用の応募用紙を最寄りの弊社営業所からお取り寄せいただくか、ニチハHPよりダウンロードしてご応募ください。



国交省がリフォーム事業者団体を登録 消費者への安心などリフォーム事業の健全化を図る

ハウジングトリビューン 平澤和弘

国土交通省が、一定の条件を満たす住宅リフォーム事業者の団体を登録する制度を創設する。事業者団体を通じてリフォーム事業の健全化を図ることが目的で、登録を通じて住宅リフォーム事業者の適正な運営を促すとともに、登録というお墨付きを通じて一般消費者への情報提供を進める。

住宅マーケットがストック色を強めるなか、リフォーム市場の拡大が期待されている。ただ、これまで事業者の技術力や透明性、消費者が気軽に相談できる窓口が少ないといったことが指摘されてきた。

例えば、新築住宅は建設業許可を受けた建設事業者しか工事ができないが、500万円未満のリフォーム工事は許可が不要だ。参入障壁が低いことから、さまざまな事業者がリフォーム市場に参入している。それだけに事業者による施工品質や顧客への営業・対応方法にはばらつきがあるのも事実だ。

この検討会がまとめた制度のスキームは、住宅リフォーム事業の健全な発達と消費者が安心してリフォームを行える環境整備に取り組み事業者団体を登録し、お墨付きを与えるというもの。

リフォーム事業者団体のなかには、会員を対象に資格制度や技術認定制度を設けている団体もある。こうした団体を国が登録することで、その団体に所属するリフォーム事業者であれば、消費者も安心してリフォーム工事を依頼できるといふわけだ。

団体の登録要件は、設立・組織・運営管理などが法令により定められていることをベースに、リフォーム事業者である構成員が2つ以上の都道府県にわたって100社以上加入していることなど、一定の規模を満たすことが求められる。

また、事業者団体の活動として、リフォーム技術の向上や消費者保護のための研修を定期的に行うなど、構成員を対象とした人材育成のための体制を持っていることが求められる。消費者の相談窓口や、消費者に対する情報提供を行っていることも要件だ。

一方、構成員であるリフォーム事業者に対しては、実施する工事内容に応じた必要な知識や技術を持ち、住宅リフォームを適

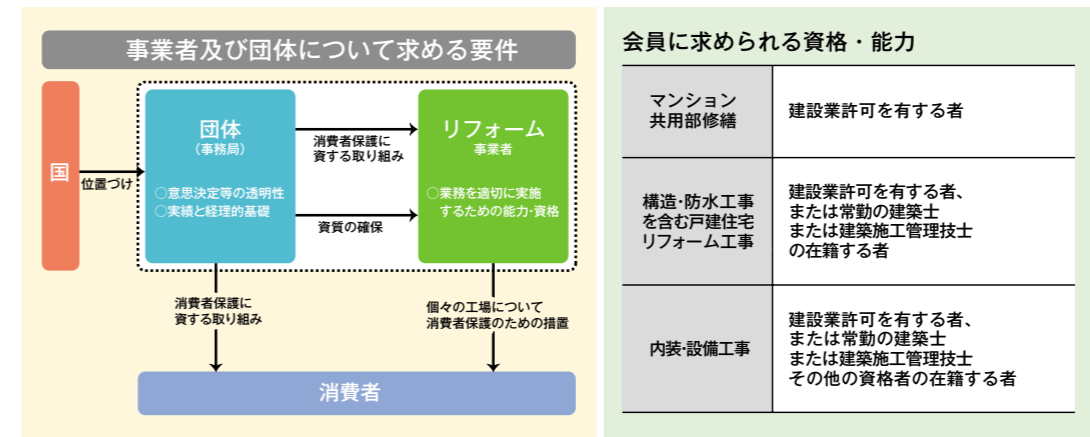
正に行うことができることを求めている。「必要な知識や技術」のイメージとしては、「マンション共用部修繕」、「構造・防水工事を含む戸建住宅リフォーム工事」、「内装設備工事」に分類し、原則として建設業許可を持っているか、または常勤の建築士、建築施工管理技士などの資格者が在籍していることなどが要件となっている。

さらに、会員が行う個別の工事などに関して、リフォーム工事の請負契約の際の見積もり及び契約時の書面の交付、重要事項説明、誇大広告の禁止などを求めている。また、請負金額が団体の定める金額(500万円以下を想定)以上の工事は、リフォーム保険または大規模修繕瑕疵保険への加入を求める。

一定の対応などを行う事業者団体に対する国のお墨付きは、消費者の安心につながる。一方、事業者にとっては、国のお墨付きが自社の施工品質の高さなどの信頼につながる。

逆に、リフォームを適切に実施する能力のない事業者は淘汰されていく可能性もある。

今後、リフォーム市場が拡大していくなかで制度がうまく回り始めた時、リフォームマーケットは新しい姿を現すのかもしれない。



その木、? どこの木?

木材利用ポイント実施中

OS オフセットサイディング

オフセットサイディングの進化版

Advance アドヴァンス

国産木材チップを原材料に

50%以上使用

「モエンエクセラードアドヴァンス」は木質原料の本体にしめる割合を50%以上に高めることに成功。国産木材の利用促進とCO₂固定量の増量が可能となり、張るだけの環境貢献がより実感できる商品となりました。

アドヴァンスが 「木材利用ポイント」の 外装木質化建築材料に認定されました。

編集後記

取材を終えて、中村好文氏が歌をご披露くださいました。かの名曲「ハナミズキ」。ん?! なんと、花粉症の憂いをうたった替え歌ではありませんか。さらにラジオ体操第一のメロディーラインにのせて、新しいお施主様を歓迎する「社歌」までも。替え歌のレパートリーは100曲以上にのぼるそうです。

医者が患者の病気を見つけるように、お施主様の潜在的な要望を見つけ出し、テラーが着心地のよい服を仕立てるように、お施主様の生き方や暮らし方を尊重した、心のかたちにフィットした住まいづくりを目指す中村氏。その住宅には、人を愉しませたり、驚かせたり、愉快的な工夫やちょっとした仕掛けなどの「遊び心」によって、替え歌と同じようにふと人の心を和ませる、そんな温かさに満ちています。

「中村好文 小屋においてよ!」は金沢21世紀美術館にて8月31日(日)まで開催中です。

リラックスした気分で愉しめる展覧会に遊びに行ってみませんか?(T)

ニチハ株式会社

名古屋市中区錦二丁目18番19号 三井住友銀行名古屋ビル

TEL (052) 220-5111

編集/ナビユー編集室

ホームページアドレス <http://www.nichiha.co.jp/>